

令和6年度 学校安全総合支援事業



平坂中学校 1年生

防災学習のまとめ



守ろう、支えよう、大好きな故郷



地震後、安全に
避難するためには



調べようと思った理由

防災講座で、避難するためのスリッパ
を作り、他にもどのような対策をすれば安全
に避難ができるのか気になり、調べようと思った。



南海トラフ地震 被害

今後30年以内 70~80%の確率

震度・・・最大震度7

津波・・・4.6m 市域の3分の1が浸水

死者・・・32万3000人

東日本大震災の約10倍



地震 危険なところ

子ども部屋が1番危険!?

勉強、遊び、就寝とさまざまな要素を1つの部屋
に集約しているから。

他にも...

キッチンには家具や割れ物が多く、ガスなどの
火の元、包丁があり危険!



身を守るためにできること

地震前の対策

1. 家具の固定

地震による負傷者の
30~50%は家具類の
転倒、落下、移動が原因。

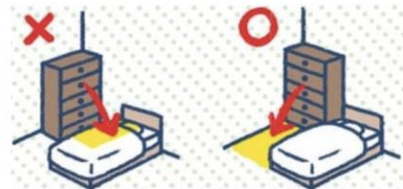
壁にL型金具でネジ止めしたり、テーブル、
椅子の滑り止めを設置したりすることが大切



2. 家具の配置

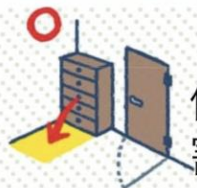
寝室に家具を置くなら
倒れ込まない位置に!

置くときはできるだけ背の低い家具にする。



脱出路がふさがれないような
位置に置く。

倒れた家具がガラスを
割らない位置にすることも大切!!



避難するとき

1. 火元の確認

ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを切る



2. 避難するときの移動方法

原則、徒歩で避難する。



渋滞による逃げ遅れの危険があるため。

まとめ

地震後、安全に避難するためには、
避難する時だけでなく、地震前の対策から
心がけてしておくことが大切だとわかった。
家具の配置など、今できることからやってい
き、安全に避難できるようにしておきたい。

守られるのではなく

守る人へ



地震の時の避難の仕方

- ①避難通路を確認する
- ②足場が危ないからスリッパなどを履く
- ③落下物に注意して避難する



津波の時の避難の仕方

- ①まずは連絡を待つ。
- ②津波がわかったら速く高いところに逃げる



⚠ 焦らず冷静になるべく速く



避難する途中は

逃げる！

と言いながら逃げる！



避難所で私たちにできること

例: 体の調子が悪い人や障害がある人の
生活を手伝う。



⚠️ 自分にできそうなことを自分で探す

ふだんからできること

- ・備蓄品を持っておく。
- ・家の家具などを固定しておく。



倒れてこない・落ちてこないを確認する

個人テーマ



自分の身は自分で守る



避難所運営ゲーム(HUG)

避難所運営ゲームを行なって災害時をイメージし、実際に災害が起こったときにどのように行動、対応すればよいかわかった。



防災学習センター

実際に風速30mの風や震度6強、
火災の煙から脱出するなどの体験をした。
どれも想像以上に怖かった。
事前に準備するのはとても大事だとわかった。



自分の命を守るためにできることは、
・家族との連絡手段、合流方法を共有する
・地域を知る、応急手当の講習を受けておく
など、

私たちができる大切なことはたくさんあり
もしものためにできる限りのことは
やるべきだと思う。



中学生にできること
東日本大震災では中学生が強い力になった。
・物資の運搬・炊き出しの手伝い
・給水の手伝い・避難所の掃除 など、
できることはたくさんある。



その学びをこれから
起こると言われている南海トラフ地震などに
自分が調べたことですぐに対応できるように
これからもっと学びを深めていきたい。
そして自分の身は自分で守ることのできる
中学生になりたい。





家族と災害に備える

防災学習で気になったこと

災害の時の備蓄品はどのくらいの量や
ものが必要なのか

もし大きな地震が発生したらどのような
行動をとればいいのか



災害時の食料

災害が発生してから救助体制が整うまでには
約3日ほどかかる



避難所には限られた分の食料しかない

自分で備蓄品を用意しておくことが大切

家族4人分の場合...

最低でも3日分→36食

1週間分→84食必要になる



すぐに食べられて、保存ができるもの

お湯を入れて待つだけでできるもの



防災リュックの中身(必要最低限なもの)



水、食料、貴重品
救急グッズ、衣類
薬、携帯ラジオなど

大きな地震が発生した場合の避難所

災害の起こったものによって避難場所が違う

平坂中学校→地震、津波、洪水、高潮

中烟小学校→地震、津波、洪水、高潮、土砂災害

平坂小学校→津波、洪水、高潮

矢田小学校→地震、津波、洪水



大きな地震が起きた場合の電話はどうすればいいのか？

長期の停電が続くと基地局が停止してしまい
スマホで通信できなくなってしまう...

→災害用伝言ダイヤル(171)

安否などの伝言を音声で
録音することができる



まとめ

1年に1回防災リュックの中身を確認し、
家族と避難場所を再確認することが大切。
大きな地震がきて違った行動をとってしまう
ととても危険

地震がきたら落ち着いて行動し、
周りの人と協力する



へ防災へ

災害時私たちにできること

～知識を頭に入れ、私たちにできることを知ろう～

このテーマにした理由

小学4年生のころ、防災学習をしたので、あまり興味がい
わきませんでした。でも、中学生だからできることが
あると知り、テーマに“私たち”をつけ加えました。



ロープの結び方の種類と活用法！

☆種類！

☆活用法！

- ・本結び——— ロープどうしと結びつける袋の口を開ける
- ・巻き結び——— カラビナなど、輪を通すことのできる、対象物にロープを結び、とき
- ・テグス結び——— ロープの長さが足りないときに活躍！
- ・8の字結び——— ロープの先端がまるくなっているのを、引、かけられる！
- ・一重巻き——— 太さの違うロープや湿ったロープを結び合わせるときに使う！
- ・もやい結び——— ロープの先端に輪を作れ、糸網などを使う！



8の字結び



一重巻き



もやい結び



～西尾市の地震～

区画	最大震度	最大津波高(m)	津波高30mの到達時間(分)
碧南市	7	3.5	57
刈谷市	6 強	2.0	96
豊田市	6 強	-	-
安城市	6 強	-	-
西尾市	7	5.1 (佐久島)	41 (佐久島)

なんと、全て1位!!!!!!
とても危険!!!



～地震のゆれについて～

地震の種類に 海溝型地震 というものがあります。
海溝型地震は、最悪の場合、初めのゆれが、5～6分も続きます。
これは、ぞうさんという歌が24回分です。
さすがに長すぎて、びっくりしました。

これは、東日本
大震災と同じ。





いざ地震がきたらどうする...?

もしも地震が起きてしまったら、
「身を守る姿勢」をしましょう! /

「身を守る姿勢とは?

〈机があるとき〉

①机の下にかくれる!

②机の足をもつ!

③ゆれがおさまるまで待つ!

〈机がないとき〉

・手にもっているもの、
今あるもので「頭を守り」!

「正座のダンゴムシスタイル」
背中より頭が大事!



避難するとき、どうすれば...?

問題

ひなんをするときに、もしかしたら、
地面が「液状化」しているかもしれません。

うなみに...

「液状化とは...?

地面が「沼」みたいになって、
トドトドになることです。

「液状化のデメリットとは? /

沼があると車も通れないし
もちろん歩けもしません

まとめ

・西尾市は震度7!!

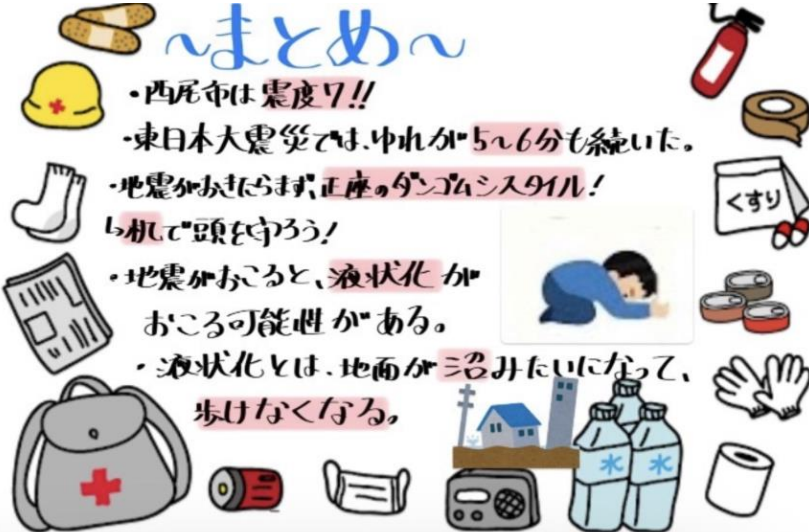
・東日本大震災では、ゆれが5~6分も続いた。

・地震が起きたら、正座のダンゴムシスタイル!

・机で頭を守ろう!

・地震がおこると、液状化が
おこる可能性がある。

・液状化とは、地面が沼みたいになって、
歩けなくなる。



へばり張り

私が防災学習をして印象に残ったことは、中学生だから、
できることがあるということ。中学生は被災地でとても
役立ちます。実際、中学生が米の炊飯器を出したり、配給を
手伝った事例もあります。それに、中学生から小学生
地域の人に伝えて知識が地域全体に広めることも
できます。私は、大切な情報をできるだけ多くの人に伝えて、
いざ、地震が来たときに、冷静に対処して、少しでも震災
の犠牲者や悲しい人を減らしたいです。



近くの地域で起こった災害について



「遠い県だと聞いてもあまり身近に感じない」

そう思う人もいます。

なので私は

西尾市の近くで起こった災害を調べました。



皆さんニュースなどで

「地震により○県で△人亡くなりました。」

などの言葉を聞いたことがありますか？



台風13号・愛知県一色町



1953年9月25日におきた台風13号は

全国で393名 一色町だけで16名



亡くなっています。

まとめ

台風13号はかなり昔のことですが

近くの地域でも災害が起こっている

ということがわかります。



防災学習を通して私は



自分に関係ないと思わず
防災について考えること

それが一番大切だと思いました。



Q 防災用品はどこに置くべき？

A 「玄関」 玄関に置くことですぐに取り出すことができるから！ すぐに取り出せる所に置くのが大切！



Q なぜ防災用品を用意しないといけないの？

A 災害発生時、自分家族の安全を確保するために必要！！



Q 具体的に何をを用意すれば良いの？

↓を用意しておくで安心
これを家族分用意する！

小さい子やペット
高齢者がいる家は↓

【避難用の防災グッズ】 非常持ち出し袋（バッグ）の中身	
必需品 1人1日分の目安	身体保護 1人1日分の目安
- 飲料水 1.5L (500ml×3本) - 食料 3食 - 衣類・下着・タオル 1セット - トイレットペーパー 1つ - 携帯トイレ 3-8個 - LEDライト 1つ - モバイルバッテリー 1つ - 充電ケーブル 1つ - 現金 およそ1万円 (公衆電話用の10円玉も含む) - 常備薬 医療機関の指示に従う - 保険証のコピー 1つ - ハザードマップ 1つ	- 防災用ヘルメット 1個 - 軍手 1つ - レインコート 1着 - 使い捨てカイロ 2つ - 歯ブラシ 1本 - スリッパ 1つ - アルミブランケットや寝袋 1つ - 保温毯 1つ - 消毒用アルコール 1つ

+

高齢者向けグッズ	子供向けグッズ	ペット向けグッズ
- 持病の薬 - 高齢者用食品 - 老眼鏡 - 入れ歯ケア用品 - 折りたたみ杖	- おやつ - ベビーフード - 絵本 - おもちゃ - おむつグッズ - 授乳グッズ	- 水 - ペットフード - トイレ用品 - 首輪・リード

Q 防災食品はどれくらい買えばいいの？

A 最低で3日から1週間分用意する！
けど、食品には賞味期限があるから
ローリングストックをする！\

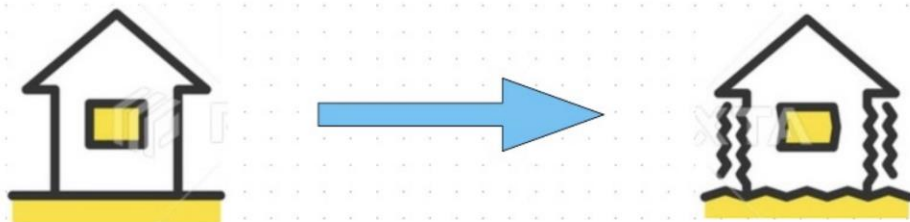


まとめ

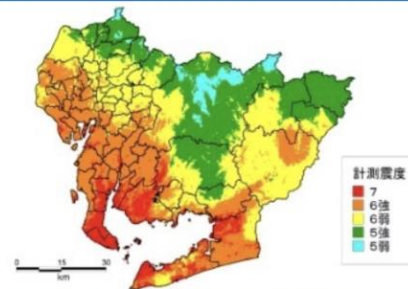
災害は備えることで自分の命を守ることができる！
だから、少しずつでも備えて

自分や家族の命を守ろう！

災害前と災害後の行動



西尾市の災害について



震度7は、どれほどの地震かというと、動けず、飛ばされることもあり耐震性の低いコンクリートの建物が崩れるほどだそうです。

さらに、西尾市は海に面しているため津波の被害も出るかもしれません



災害に
備えよう！



さっきも紹介したように、西尾市には大きな地震がきます。他にも、風水害、他の自然災害も起こるかもしれません。災害が起こったら、ご飯も食べられなかったり、たくさん大変なことがあります。もしかしたら死んでしまうかもしれません。なので、災害が起こっても、少しでも楽な生活ができるように、生き残るために災害に備えることが大切なのです。

でも、何をすればいいのかわからないことがたくさんあります。そこで、どうやって災害に備えるかを説明します！

災害対策を
しよう！



資料A



家具の固定が大切！

避難場所、避難経路、ハザードマップを見ながら家族や友達、周りの人と話し合っておくことが大切！



防災活動



次に、今年学校で学んだ防災についてのことをいろいろある中で2つ紹介します！

①「防災講話 ～西尾の防災～」

この講話では、改めて地震の怖さがわかりました。
今、危険な「南海トラフ地震」も、大きな地震で、危険な子は知っていました。
でも、話を聞くと、揺れが大きく、長く続き、津波や火災など二次災害も危険！
なので、「自助」「共助」「互助」「公助」をする！（上の写真）
もっと災害について関心が湧き、地震について家族で話し合い、対策しようと感じました。

②「小中合同防災学習」

この学習では、ふだん自分は教えてもらう側、でも教える側になり勉強になることがわかりました。
自分たちが教えてもらったことをまた教えることで、色々な人に伝えることができます。
教える側はわかりやすく教えないといけないので、すごく大変なことがわかりました。
なので、自分が話を聞く側になったら、真剣に聞こうと思えました！
災害前は、小中合同防災学習で、防災を伝え、災害後はそれを活用する！

まとめ★



災害前にできることは...

- ☆防災について家族で話し合う
- ☆学んだことを伝えて広める
- ☆これからも災害に関心をもち続ける
- ☆家具の固定
- ☆食料など、必要なもの
- ...など！

災害後にできることは...

- ☆「自助」「共助」「互助」「公助」をする
- ☆今自分ができることを考えて行動する
- ☆避難所でできることを手伝う（何ができるか考え、行動に移そう！）
- ...など！

これらのことを活用して、災害に向けて取り組んで、考えていきたいと思いました！

防災...



避難所に何を持って いけばいいの？



これを防災バックに入れたら安心!!

飲料水
食料(3～7日)
防災頭巾
マスク

軍手、手袋
救急用品
懐中電灯
貴重品
ラジオ



食料はこれを持っていこう！

アスファル米
カップ麺
ビスケット

チョコレート
乾パン
水
など



貴重品はこれを持っていこう！

現金
印鑑
貯金通帳
健康保険証

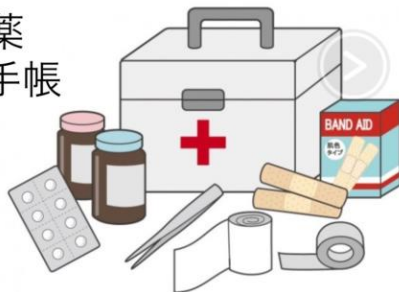
免許証のコピー
など



救急用品はこれを持っていこう！

ばんそうこう
包帯
消毒液

常備薬
お薬手帳
など



まとめ

防災対策は大切！！

荷物はできるだけ最小限にしよう！！

皆さんも防災バックを準備しましょう！

いつ来るかわからない地震
いろいろな状況でどう行動するか



南海トラフ想定死者数

32万人越

自分一人が亡くなる可能性は0.5%でも
例えば4人家族だと2%で誰が被害にあう
友達なども含め、30人だとすると86%で
無事、14%で誰かが被害に遭う
このようにどんどん確率が上がっていきます



家にいる時 地震が来たら？

まず大きな家具や窓ガラスから離れて安全な
場所で身を守ります

机やテーブルの下であしをしっかりとち
揺れがおさまるまで待ちます



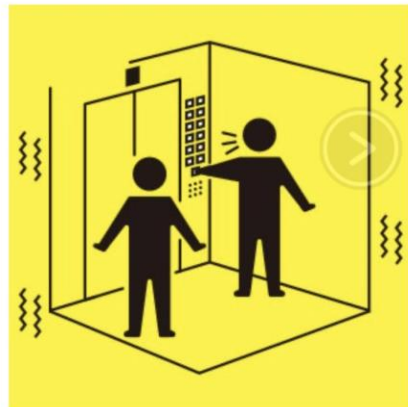
外にいる時地震が起こってしまった場合

公園、広場などの建物の倒壊や落下が
ない場所に逃げる

門や塀から離れる



エレベーターで地震が起こってしまった場合
全ての階のボタンを押し最初に停止した階で
安全確認をして下ります。



車にいる時地震が起こってしまった場合

ドアロックをしない

キーをつけたままにする



揺れがおさまるまで車内で待つ

スーパーなどで地震が起こってしまった場合
ショーケースや陳列棚から離れて
エレベーターホールや柱付近に身を寄せる

服装 長袖 長ズボン



調べたことを通して

地震が起こる前のしっかりとした準備が本当に
大切です。必要なものなどを準備しておく
ことはもちろんですが、避難所までの道の
確認、そして私が一番大切だと思うのは
地域の人たちとの関わりです。
だから挨拶が大切です。

テーマ 命を守る道具

防災グッズの必要性

防災グッズが必要な理由は大きく分けて3つ

- ・災害時に身を守ることができるから
- ・災害後の生活を補助できるから
- ・人命救助の際に役立つからなど

必要性はとても高い！

防災グッズについて

防災グッズとは・・・災害時に身を守ったり、生活を補助してくれる道具



- ・家に置いてあるだけで安心
- ・再利用することができる

災害時に身を守るもの

例えば・・・緊急脱出用ハンマー

水害時に役立つ

車のガラスを簡単に割ることができる

シートベルトも簡単に切ることができる

持っているだけで安心できるもの



災害後の生活を補助するもの 人命救助の際に役立つもの

例えば・・・防災テント

住居スペースを確保できる
コンパクトで持ち運びが簡単
簡単に設営することができる
安心してその場を過ごせるもの



例えば・・・担架

怪我人を運ぶことができる
寝床として使うこともできる
災害時以外でも使うことができるもの



防災グッズは誰が創るのか

それは・・・防災グッズ・機器開発者
災害に備えて一般家庭・企業・学校・自治体
などに置かれる防災用品を開発する

しかし

開発することは、誰でもできる

命を守るためのアイデア

想像力を働かせ、ふだん捨てるようなものでも
防災グッズにすることができる

例えば・・・新聞、缶詰



誰もが持っている
想像力が命を救う

若い人ほど想像力は高い

だから、小中学生が積極的に取り組む必要がある!



防災学習 まとめ

自分たち中学生が災害が
起こったときにできること



1つ目

避難所で
暮らしている
人たちが
安心して暮らせる
環境作り



壊れたものや
浸水したものを
片づけ、掃除をする



避難所で生活している人に
ごはんを配付する
など



2つ目



応急処置の方法



安静
(Rest)



圧迫
(Compression)



冷却
(Iceing)



挙上
(Elevation)

をするとよい

簡単な応急処置



などができる



日頃からの備えが
大切!



防災

"地震で起こる被害や必要な物とは?"



まず
震度いくつから
逃げた方がよい?

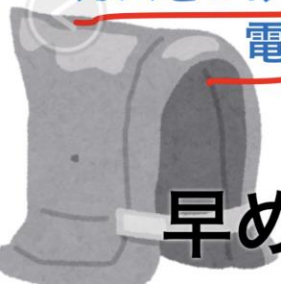


震度とはある場所における地震の揺れの強弱
震度5からは避難した方がいいかも!

地震が来ると何が起こるの?

津波や液状化現象、土砂崩れがだけではなく

ガスをつけたまま逃げると火事になったり
電線の近くにいると感電するかも



早めの避難を心がけよう

避難場所を知っていますか?

● 経路も場所も知っている ● 場所だけ知っている ● 知らない



そして
避難場所や経路を
知らないだけで

逃げ遅れ
命を落としてしまうかも,,



ここで1つ質問

自分の思う

防災バックに入れた方がよい物は？



Q防災バックに入れた方がよい物

第1位 飲料水

第2位 食料品

第3位 充電器

第4位 貴重品

第5位 携帯トイレ



まとめ

地震での被害や必要な物とは？

液状化や土砂崩れが来た時に

防災バックを持って速やかに

避難場所に逃げて行けるようにしよう



自分でも災害について調べて家族と話してみよう

みんなを守るための防災

世界各地で起こる大地震



日本では小さな地震から大きな地震が、毎日のように起こっています。そんな中でも今回は「東日本大震災」をもとに考えていきたいです。



地震大きさと起こる現象

地震の大きさは「震度」というものによって分けられています。

震度2くらいでは気づかない人もいます。

しかし震度5くらいになると棚が倒れてきたり、歩くことが難しくなります。



地震とその後

先ほど説明したように、人が立てないほどの地震が来てもは避難所まで逃げないといけません。

しかし余震といって再度揺れることがあり、逃げる時も瓦礫などに気をつけないといけません。



津波の怖さ

災害時のとき、怖いのは地震だけではありません。
地震が起こった後、約10mの津波が来ます
地震から命を守った後は
高い所へ避難することが大切です。



地震への備え

災害が起こった際まず家の状態を確認します
家で過ごせそうだった場合は、家で生活をします。
家が壊れていた場合は避難所へ行きます。
その際に持っておくものが緊急バッグです。
その中でも水は1人9L持っておきましょう



より安全な家へ

先程も言ったように避難所で生活するのもよいですが、今までどおり自分の家で生活したいという人もいます。
そのときに家具を固定したり、ガラスが飛び散らないようにすることでより安全な家へと近づきます。



ありがとうございました

今回学んだことを活かして防災への意識を
高めていってください。



自分の命を守るためにできること



地震

○地震が起こると

- ・3～4までは、人が揺れを感じ、驚くだけ。
- ・震度5弱からは恐怖を感じ歩くことが難しくなる。
- ・震度6弱以上は、立つことさえ難しくなり、飛ばされることもある。



○地震が起こったとき取るべき行動

- ・落ち着いて机の下などにもぐる。
- ・落下物などに注意して頭を守る。
- ・ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。
- ・火の始末はできるだけ早く。



○地震による被害

- ・地震による被害には、津波、建物倒壊、火災、土砂崩れ、液状化がある。



火災



液状化

○津波の恐ろしさ

- ・凄まじい破壊力。
- ・ジェット機並みの速さで迫ってくる。
- ・30cmで歩くことが難しくなり、1mでは想定死亡率が100%になる。



遠いところではなく高いところへ。

早く逃げて！



○用意しておく食べ物

災害が起こると、食べ物に困ってしまう。

- ・そのまま食べられるおにぎり
- ・野菜の保存食
- ・チョコレート
- ・ビスケット



...のように、すぐに食べられるものがおすすめ！

○避難先でできること

- ・小さい子のお世話
- ・高齢者の手伝い
- ・ゴミの分別
- ・簡易シャワー室の掃除
- ・炊き出しの手伝い



助けられる人から助ける人へ

できることから取り組もう！

○まとめ

- ・地震が起こると、たくさんの被害が出る。
- ・早く安全な場所に避難する。
- ・家族、地域での対策が大事。

できることはたくさんあります。

いざという時に後悔しないようにしましょう。

—自分の命を守るのは、自分です。—

地震に対する準備



非常食について



非常食は約10日分を準備する。

非常食は大きく分けて5種類ある。

たくさんのアレンジレシピがある。



非常持ち出し品について

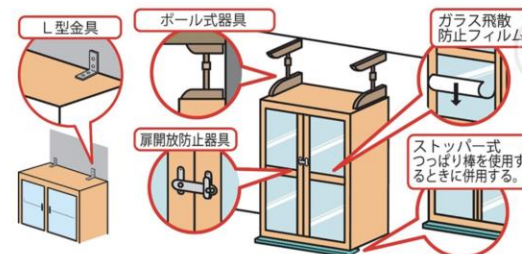
非常食約10日分、スリッパ、簡易トイレ、
医療用品、飲料水、貴重品などを用意する。

本当に必要な防災グッズ



家具の固定について

倒れやすい棚や、倒れてきたら危ないものを
固定する。



足元を守るスリッパ

スリッパは自分たちの身近にある新聞紙でも簡単に作ることができる。



避難所に行くまでにすること

出口を確保する。
ブロック塀から離れて歩く。
ブレーカーを落として外に出る。
足元を守る。



避難所での生活

～避難所の現実と備え・準備～



事前の備え・準備

①非常用トイレの備蓄



・小さく運べる「携帯型」

・便器に袋を被せる「便器使用型」



・組み立て式の「組み立て型」



避難所の現実

①トイレが使えない



・停電や上下水道の被害など

・トイレが我慢できずそのまま使うことも

→汚物の山が発生してしまう



避難所の現実

②プライバシーが確保されない

・周りの視線が気になって眠れない

・着替えが気軽にできない

→何気ない日常のすべてがストレス



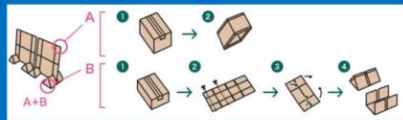
・見知らぬ人と同じ空間で過ごすのが不安

事前の備え・準備

②パーティションの作り方を知る

自分の落ち着くものを準備しておく

・ダンボールでつくるパーティション



・アイマスクや耳栓、お菓子や本など

事前の備え・準備

③災害時のお風呂グッズを準備しておく

・水を使わないシャンプーやボディーソープ

・全身清拭ぬれタオル



避難所の現実

③お風呂になかなか入れない

・水の確保が難しい

・避難所にお風呂やシャワーがない

・体の清潔が保たれず、免疫低下や感染症にかかりやすくなる



今回のまとめ



もしも避難所で生活しなければいけない

ときのために、避難所の現実を知って

しっかりと備えと準備をしておこう！





災害時、自分たちには 何ができるのか



- これまでの学習で学んだ知識を
地域の人や親戚の人たちに広める
- 地域の防災訓練に参加し、交流を深める

①逃げて！

②食事や水を運ぶ

③「避難者カード」

④「避難所新聞」

この他にも事前にできることは...？

中学生が活躍した東日本大震災

物資の運搬や給水、炊き出しの手伝い



小学生と一緒に避難(釜石市)



避難した小中学生約570名
全員が生き残れた

まとめ

- ・「助けられる人」から「助ける人」になる
- ・中学生だからこそできる事はまだまだある

「避難者カード」の作成



災害への適切な備えと対策



備蓄品

食料品は3日分～1週間分準備
水分は1人1日当たり3ℓ必要です
水分も最低3日分できれば1週間分準備して
食料以外に懐中電灯、現金を準備してください
現金は一万円札より千円札や小銭がよいです

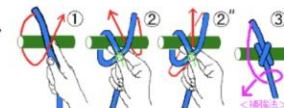


備蓄品2

懐中電灯は長時間過ごす場所に置いておく
と便利です。また簡易トイレも必要になってきます
簡易トイレも最低3日分できれば1週間分
1人1日当たり5回×3日×家族の人数分必要です



ロープ縛り ～巻き結び～



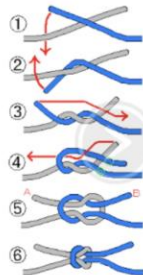
巻き結びとは
ロープを物に固定したり、物を束ねる時
に使用される基本の結び方です
ボートなどを一時的に係留したり、
テントの支柱や棒状の物を
束ねたりする場合に使用します





ロープ縛り ～本結び～

本結びとは
ロープの端と端を繋げ短いロープ
を長くすることができる結び方です
引っ張る力に強く簡単にほどけるという
メリットがあります



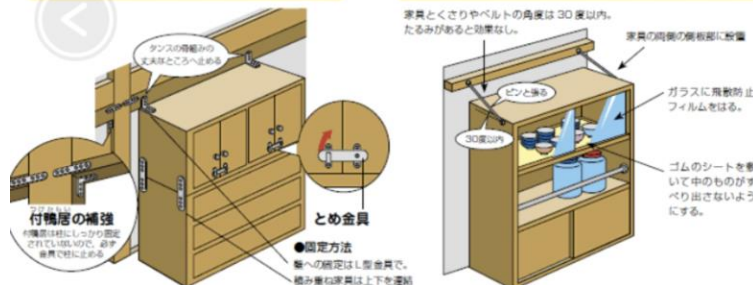
家具家電の固定

家具家電の固定や
飛散防止フィルターを窓やガラスに貼るのが

●タンス1種（さお）の固定費用 約2,500円～
（積み重ね家具（平型、L型、とめ金具）の場合）

●食器棚1種の固定費用 約2,500円～
（ベルト式、ゴムシート、ガラス飛散防止フィルムの場合）

大切です



！避難ルートでの注意！

避難ルートにブロック塀がある場合
ブロック塀が倒れてくる恐れがあるので
ブロック塀から離れて通るようにしましょう



最後に

いつどんな災害がくるかわからないので
早めの準備が大切です
しかし期限や電池が切れていたら意味ないので
定期的にチェックしましょう

